

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・松魚亭

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 22-2525

会長：山岸与作 幹事：上田忠信

情報委員長：中村三次

1983・5月26日 第241号

経済の現況について

北国銀行調査課長 中川 弘氏



昨年の石川県の景気は、年間を通じて停滞基調で推移した。その原因は、56年秋頃から輸出が大幅に落込み、基幹産業である繊維、機械、鉄鋼が大きなダメージを受たことにある。又消費関連の商品の動きもわずかに低い伸びにとどまった。ただ住宅の新設戸数が大幅に増加したが、これは昨年10月住宅金融公庫の段階金利制導入に伴う9月までのかけこみ需要のためで、むしろ、住宅投資には基本的に、所得と住宅価格の格差の増大や、婚姻件数の減少等構造的な原因

があり、本格的回復は望めず、むしろ先行懸念の業種に入るといえる。

現況の産業情勢については、今までずっと構造的な不況に沈んで来た繊維が、わずかながら明るさをみせ、機械鉄鋼は引き続き生産調整が行われ底がみえず、商業サービス業も盛り上げを欠いて全体として停滞基調で推移しているが、その中でも明るさが期待できる業種として繊維、染色整理業の外、電子工業は好調な操業を続けており、又繊維機械も操業をもち直し、今までにない明るい先行期待感が出てきている。

以上県内について述べたが、国内の状況については、これも個人消費の伸び悩み、輸出不振と停滞感が強く、景気の牽引車となる設備投資も一段と慎重になり、鋼工業の在庫調整はかなり伸展しているものの、雇用情勢は悪化の状態が続いて停滞感は強いが、先行きについては好転のきざしが出て来ている。

それはまず第一に、アメリカの景気の底入れである。第二に原油価格の引下げであるが、これはプラスマイナス両方の影響があるが通産省の試算でも、各経済研究所の予想でも、日本経済にとってプラスとなるとみている。第三に公定歩合の引下げの余地が出来て来たこと、即ち現在は財政再建の途中なので、財政による景気回復は望めず、公定歩合の引下げが一つの景気対策と考えられるが、日銀総裁は、最近の円相場が不安定なため公定歩合の引下げが出来ず慎重な態度を示しているが、先行き円高となる環境にあるので、公定歩合引下げも早晚実施の方向とみられる。

以上県内国内とも、総体的に停滞基調ながら、昨年にはみられなかった明るさが見え、景気の底入れといえる。今後の景気回復は、一番気にかかることながら、急激によくなることはなく、徐々に明るさをとりもどし、今年下半期以降、そのような状態で推移すると思われる。

—金沢北RC例会講話より— (文責 中村三次)

光州からの便り (3)

大村 精二 様

拝啓 御健勝の由お慶び申し上げます。

暖い人情のこもる御玉翰有難く拝見致しました。一度もお會ひしたことの無い貴方様を千年の知己を得たように欣々雀躍りする感激を禁ずる事が出来ませんでした。私達がロータリアン精神を通じて韓日親善に微力乍らも一助が出来ますれば此の上も無い光栄と存じます故、何卒今後とも御指導御鞭撻の程お願い申し上げます。

韓日親善は、東洋平和を招きやがても世界平和の礎石となるのでありましよう。向笠国際ロータリー会長のテーマである“人類はひとつ—世界に友情の橋をかけよう、”の真意に同鳴しました。

當地は道庁（日本の縣庁）所在地で人口八拾萬位の文化都市で南に位置して居ります故、割合に暖い地方です。

私も印刷業を営んで居りますけれど、斜陽の途を辿る活版を主として居ります故押寄る Gold System に迫られ施設改替を切実に感じては居りますけれど、果して莫大なる投資を要求するトータルシステムが必要なるものか思案にくれてみる次第であります。

家族を御紹介申し上げます

- 1. 妻 李 春子 (45才)
- 1. 長男 丁 垣 在 (19才) 大在



- 1. 次男 丁 滢 澈 (17才) 高在
- 1. 三男 鏞 善 (15才) 中在
- 1. 四男 勇 旭 (13才) 中在
- 1. 長女 化 貞 (10才) 國在

本人 丁 萬 午 (49才) の7人家族であります。姉妹協約の式典には参加せられない由致し方ありませんけれど、一度御會ひすればと望をかけて居りましたが実に残念でありました。最後に新年の御挨拶は此の章を以ちまして欠禮致し、貴方様の御健勝と會社の御繁榮をお祈り申し上げ、擱筆致します。

乱筆をお許し下さい。

南光州ロータリークラブ

丁 萬 午 拜上

今週の花

吉山 宥海
(5月12日)

突 貫 忍 冬
矢 車 草
矢 筈 す す き
姫 う つ 木
都 忘 れ



会報に関するアンケート結果について

情報委員長 中村 三次

先日行った会報に関するアンケートの結果は下記のとおりであります。御協力有難う御座居ました。調査結果は十分尊重し今後の会報の内容に生かしたいと考えて居ります。

- ① 会報の発行回数
週1回4人 2週1回32人 月1回4人
- ② 会報の頁数
4頁32人 6頁5人 8頁0人
- ③ (イ) 巻頭文について
現状可38人 不可1人
- (ロ) 希望する記事
 - 会員の感想文、紀行文、随筆、出席状況、諸報告
 - 姉妹クラブ、友好クラブの記事
 - 会員の原稿
 - テーマを定めて会員が執筆する「会員の頁」
 - 職業上の記事
 - 10周年まで記念誌に関係したもの
 - 当クラブの行事内容
 - 当クラブに来る留学生、奨学生の動静
 - クラブ主催の会合の出席者名
- (ハ) 不必要と思われる記事
 - 出席状況
- (ニ) 例会報告の記事
現状可37人 増加0人 不必要0人
- (ホ) 今週のニュース
必要33人 不必要5人
- (ヘ) その他の要望
 - 理事会の記事をもっと詳細に
 - 会員のコラム、エッセイ
 - 会員の消息
 - 北地域に点在する遺産(名物)等を系統別に説明
 - メンバーのかくれた面(趣味)
 - シリーズとして一つの問題についてメンバーより寄稿してもらう
 - 写真
 - 次回例会の卓話者と演題
 - 会員の慶弔事
 - 講話をなるべく全部収録

新旧合同理事会

5月12日(木) 6:30～
松魚亭にて 出席者22名

- 金沢5RC合同役員会報告
 - 1. 河北RC10周年例会祝金の件
金沢東RC25周年と同様20,000円とする。
 - 2. 天皇陛下奉迎小旗の目録を5月14日に金沢RC会長が金沢市へ持参する。
 - 3. その他
- ガバナー公式訪問
8月25日(休)に決定
クラブ要覧の原稿は6月10日までに提出のこと。
- 10周年記念例会の件
昭和58年10月15日(土) 金沢市文化ホールにて。
実行委員会を構成し、今後の活動にあたる。
- 各新旧委員会で引き継ぎ事項を討議



